

附属学校園の特色ある取組



附属幼稚園



附属桃山小学校



附属桃山中学校



附属京都小中学校



附属高等学校



附属特別支援学校

京都教育大学附属幼稚園

季節を感じる

樹齢100年を超える園庭の
イチョウの木とともにある生活

大学との連携研究

幼児教育協働研修

本学幼児教育科教員と協働し、幼児教育の拠点として本園の保育を京都府下の幼児教育関係者に公開



グローバル人材育成カリキュラム

外国人講師とのコミュニケーションプログラムの実施



連合教職大学院実務家教員

連合教職実践研究科の実務家教員として、本園教員が授業・実習を担当

教育目標

自分で考え
行動することも

想像豊かに
遊ぶことも

人・ものとともに
生活を創ることも

日本文化・本物の
芸術に触れる

- 和楽器から学ぶ日本文化
(琴・三味線演奏)
- 伝統行事を五感で体験
- 絵本オペレッタ・音楽鑑賞会



生き物の
いのちを感じる

- ウサギ、カメ、チャボ、
インコ、昆虫、魚類、
四季折花々と共にある生活
- 附属環境教育実践センター
栽培物の世話・収穫
- 飼育生き物の当番活動
動物当番(年長児)、花当番(年長・年中児ペア)
- 生き物のホーム・ステイ



探究力を育む

“ひっかかり” “かかわり”
“わかってもらう”



保護者との連携・支援

育友会活動

- 親と子のタベ 納涼大会
- 文集作成
- 幼育合同体育大会
- ベルマーク整理
- ギンナンの収穫 等



子育て支援

- スクールカウンセラーによる
「教育相談」「子育てサロン」
- 外部講師の講演「教育プラザ」
- 園庭開放
- 保護者の子育てサポート
副園長との子育て談義
「きれいを楽しむ日」(園内清掃)

幼稚園独自の研究

『就園前から架け橋期を見据えた、
教育課程のあり方について』

文部科学省受託研究

「幼児教育施設の機能を生かした幼児の学び強化事業」
(令和4年度)



未就園児の子育て支援

ことり広場

幼児教育科教員と
連携し、大学の授
業とタイアップし
て0, 1, 2歳児の
遊びを提供





京都教育大学附属桃山小学校の研究概要

学校教育目標

自ら自分たちの生活を切り拓く「自立」の力と互いを尊重し合いながらともに生きる「共生」の力を育む
—変化の激しい時代に対応し、広い世界で新たな価値を創造する人の基盤を育成する—

教育の情報化

新教科「メディア・コミュニケーション科」創設
情報活用能力育成を目指す教育モデルの構築
ICT機器を利活用した授業実践の発信

文部科学省教育課程特例措置実施校（H27～）

文部科学省「情報活用能力等に係る実践的調査研究」等（H23～H25、H29～R1）

「学びにおける先端技術の効果的な活用に関する実証事業」（R2～R3）

幼小の学びの連続性を意識した学習

幼小連携教育

地域連携

音楽科における伝統・文化教育の充実
授業プログラムや伝統音楽のコンテンツを広く発信

文部科学省研究「我が国の伝統や文化に関する教育の充実に
係る調査研究」（H27～R1）

小学校と中高一貫校との学びをつなぐ
カリキュラムの開発と実践
小中高の一貫した学習到達目標に基づいた授業実践
ICTを活用した海外の学校との交流

中高一貫校との連携

全ての学びの原点を子どもに置く
「はじめに子どもありき」の体現

情報
教育

伝統文化
教育

連携
教育

外国語
教育

創造性教育研究

基盤研究

社会とのつながりから思いをめぐらし、自己の課題を追究する子の育成

文部科学省との連携

体験と実践の学び

体験活動を基本とした多彩な学校行事
生徒が参画する学校運営

多彩な経験知自らを伸ばす機会の創造

附属学校のネットワーク

附属高校との連携

多彩な研究協力者

「探究」を学ぶ

課題探究(少人数グループによる総合的な学習)
自ら課題を設定, 追究方法を考案
情報収集, 整理分析, まとめを発表

創造力「0」から「1」を生み出す

応用力「1」を「10」に増やす

探究力「1」の本質に迫る

附属高校への連絡進学

「生き方」を探究する

生き方探究(目的別グループによる総合的な学習)
将来を見据えた自己の探究
キャリア構築をやってみる, 始める, 重ねる

同窓生のネットワーク

自己の未来を拓く夢の実現に向けて歩みを進める

未来を展望する自己とキャリアを見つめる

大学との連携

京都府・市との連携

探究と協働の学び

生徒が学び合い, 生徒と学び合う授業を通して生徒を育てる
4人班を基本とする教科授業で 聴き合い, 学び合い, 認め合う

学びに向かう力自ら学ぶ意欲・姿勢

未知に立ち向かう力応用できる思考・判断・表現

確かな学力生きてはたらく知識・技能

<すべての基盤> 落ち着きある学校生活

安心感と信頼関係に基づく楽しい学校生活
認め合い, 高め合う仲間・先輩後輩という伝統の校風
高校受験に追われないからこそできる細やかな学級指導

豊かな感性をもち, 周りに関わりながら自己を伸ばす生徒の育成

豊かな感性 輝く個性 広がる共生

京都教育大学附属桃山中学校

【義務教育学校】



京都教育大学附属京都小中学校

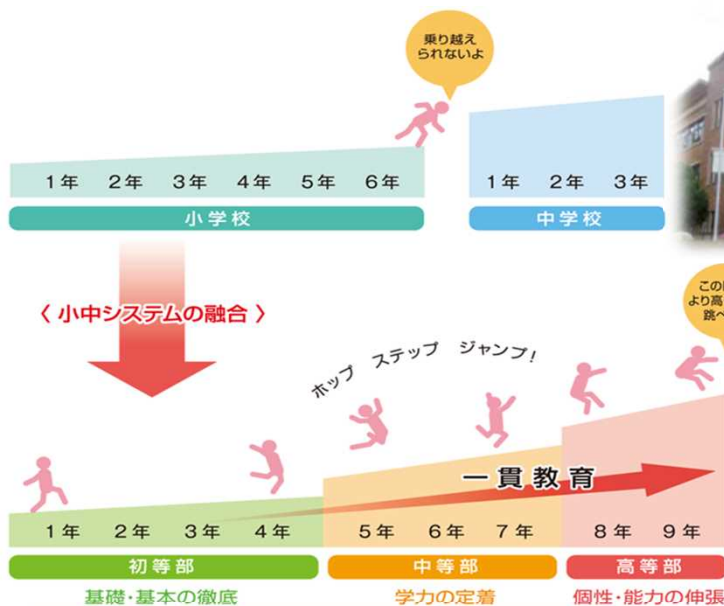
KYOTO COMPULSORY EDUCATION SCHOOL
attached to Kyoto University of Education

小中一貫
教育課程
教育システム
の研究と構築

20年におよぶ
研究実績と成果

地域に還元・
全国に発信

平成29年4月より「義務教育学校」へ移行



～義務教育9か年を通して子どもの育ちを見つめる～

未来の社会に躍動する生徒の育成

特色ある教育課程の編成

京都教育大学
との協同研究

附属学校園
との連携研究

英語科
の設置
【1～9年】

思考力育成
Thinking
Science
プログラム
【5～9年】

特別支援
学級教育
プログラム
【1～9年】

京都府・市
教育委員会
との連携

地域に還元
全国に発信

令和5年度より 文部科学省研究開発学校延長指定

(義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程の再構築に関する研究開発)

小中で概念が移行する教科
●「算数」→「数学」
●「図画工作」→「美術」「技術」
複数の分野が統合された教科
●「社会」 ●「理科」
学習内容の系統性と精選
●「国語」 ●「音楽」
●「体育」 ●「家庭」

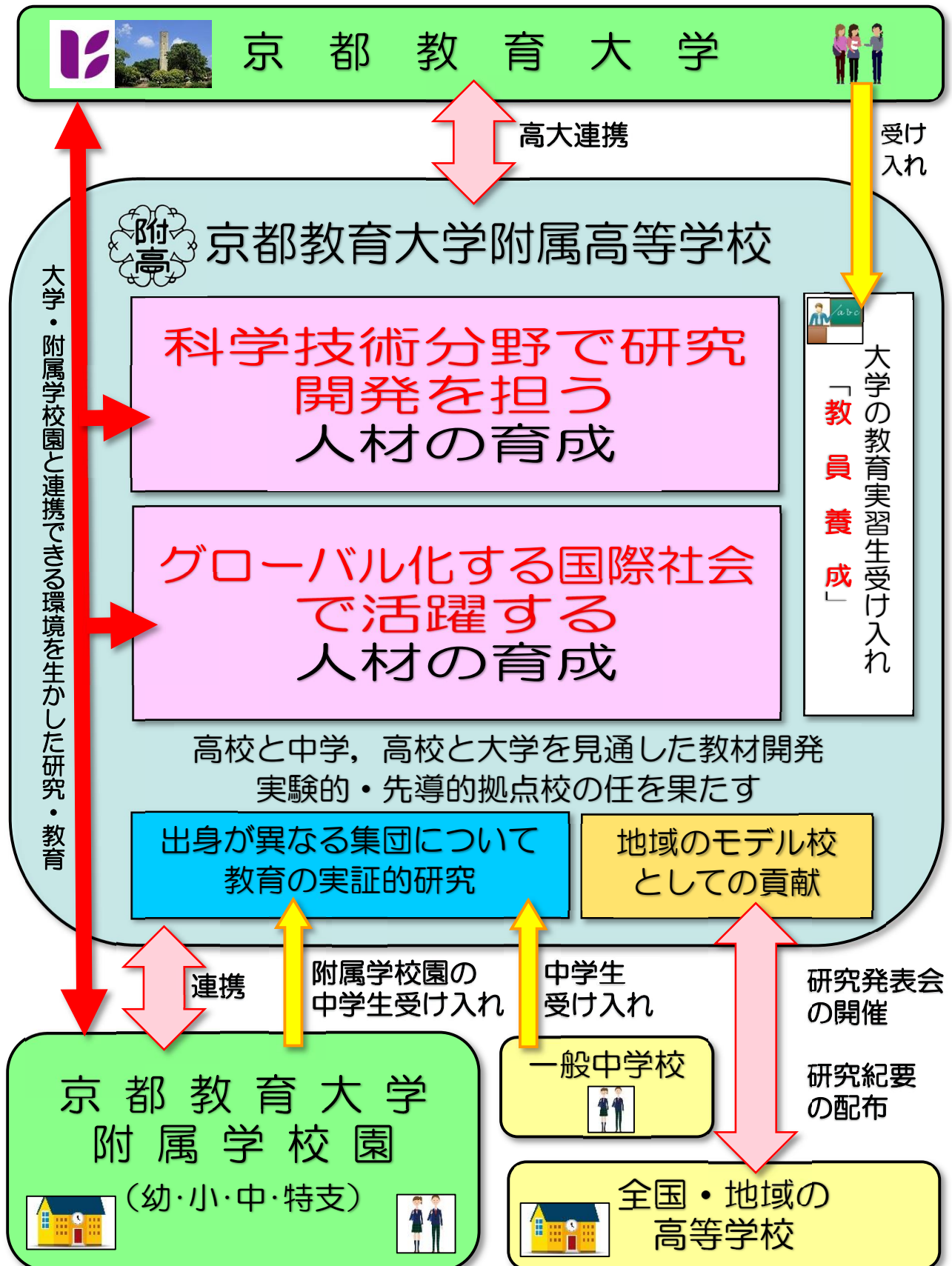
思考力育成を
基盤とした
義務教育9か年の
系統的カリキュラム
の開発

●9か年の系統性
●内容等の学年・教科間移行・精選
●教科の再編・統合

小中一貫・義務教育学校の
教科カリキュラム
スタンダード・モデルを構築

京都教育大学附属高等学校

～自由な発想と創造性をもって未来を切り拓く人材の育成～



京都教育大学 附属特別支援学校

学校教育目標 「生活意欲に富む、個性豊かな社会人を育成する」
～「学び育ち」の場としての学校を基軸とした専門性の高い人材の育成と地域貢献～

大学との連携

大学とつながり、教員・学生が
専門性を高める拠点として

○発達障害学科、学びサポート 室との連携

- ・大学の授業への共同参画
- ・附属学校とのコンサルテーション

○他学科との連携

- ・歌とお話の会（幼児教育科）
- ・出前授業（音楽科）
- ・部活動での指導助言 etc.

実習

研修



主体的・協働的な学びによる学校生活の創造
～「一人ひとりの生きる力」の育成～

教員の授業力の向上のため、指導内容や児童生徒の
評価方法の検証

協働

創造

地域との連携

障害のある人を支え、地域を
豊かにする拠点として

- ・藤城学区自治連合会、
社会福祉協議会の活動の場
- ・福祉施設との協働の場
- ・卒業生が集う会
- ・同窓会活動 etc.

特別支援学校・学級との連携

地域の特別支援教育に携わる
教員の「学び」の拠点として

- ・「特別支援教育を考える」公開講座
- ・教材作りワークショップ
- ・学校訪問、宿泊学習
etc.

